大月町ため池ハザードマップ

ハザードマップに関するお問い合わせ先
大月町 建設環境課 Tel:0880-73-1114

ハザードマップについて

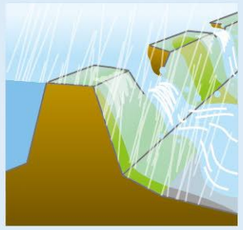
ため池ハザードマップを確認し、大地震や大雨の際はため池の決壊にも注意してください。

- ●日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んで確認しておきましょう。
- ●浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主避難を心がけましょう。
- ●いざというときに落ち着いて行動できるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

こんなときは要注意!! ～ため池決壊の要因～

大地震のとき

大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に到ることがあるので注意が必要です。

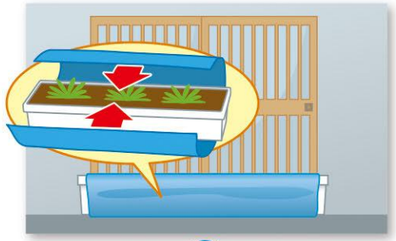


大雨のとき

大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。

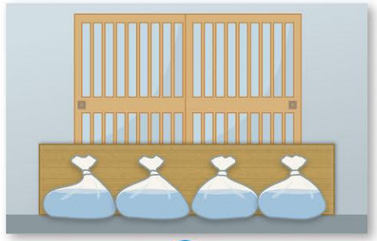
家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう（無い場合は水のう）を設置することで、水が建物へ浸入するのを防げます。簡易的な措置として、植栽用プランターや石油用ポリタンク、長めの板（はしごやテーブルでも可）などを、ビニールシートで包んで設置してもよいでしょう。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておくと、より効果的です。



簡易水防工法例①
プランター＋ビニールシート

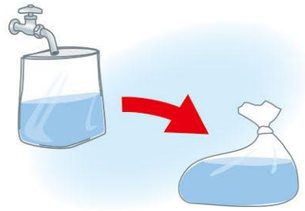
土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。



簡易水防工法例②
簡易水のう＋止水板

簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせて出入り口に設置し、浸水を防ぎます。

「簡易水のう」の作り方



家庭で使用しているごみ袋（40リットル程度の容量）を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。

避難の心得

状況により、すばやく避難しましょう

避難の準備を心がけ、町からの指示があれば、素早く避難しましょう。

住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。

非常持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品は両手が自由に使えるようリュックサックにまとめ、持ち出しやすい所に置いておきましょう。

外出中の家族には連絡メモを残そう

「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくようにしましょう。

集団で助け合おう

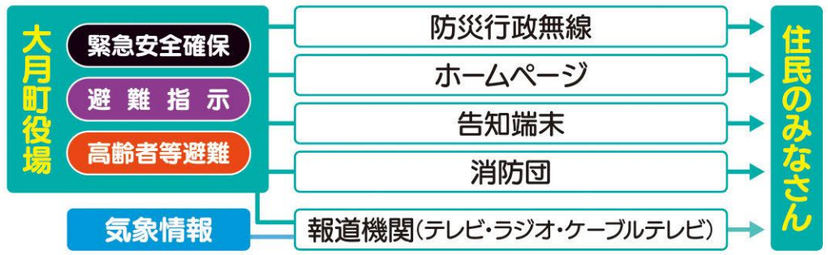
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

避難所では係の人の指示に従いましょう

避難所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

情報の伝達経路

町からの避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



避難情報と住民のとるべき行動

情報収集
災害の発生が予想される状況では、ラジオ・テレビなどで正確な情報を収集します。また、周りの様子にも注意しましょう。

ため池の異常に気づいたら
すぐに連絡・通報! ➡

緊急時連絡先
警察……110
救急……119
大月町役場……0880-73-1111

避難情報	警戒レベル	状況	住民のみなさんに求める行動	
緊急安全確保※	5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	●命を守るため、自宅や近隣の建物で緊急的に安全確保してください。
>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> 警戒レベル4までに必ず避難! <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<				
避難指示	4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	●危険な場所から全員避難してください。 ●屋内で安全確保できると自ら判断できる場合は垂直避難も可能です。
高齢者等避難	3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	●高齢者等の避難に時間を要する人やその支援者は避難してください。 ●高齢者等以外の人も、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

※災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

情報の入手先

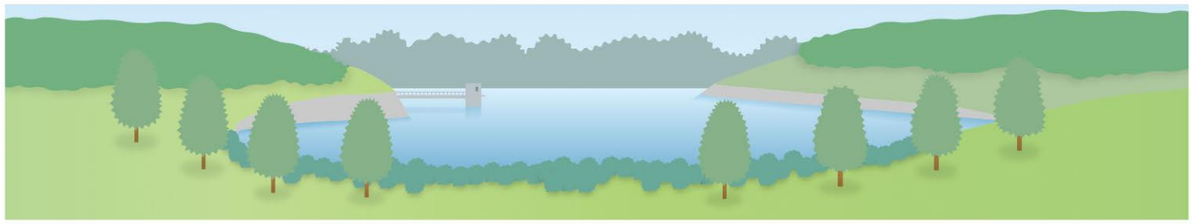
気象庁HP 気象情報など
https://www.jma.go.jp

高知県HP こうち防災情報
https://kochi-bousai.my.site.com/
県内の雨や水位の状況、土砂災害の危険度など災害に備えるための情報を確認できます。

無料 高知県防災アプリ
災害時に必要となる防災情報をプッシュ通知でお知らせ
検索 高知県防災アプリ
ダウンロードはこちら

ため池の役割

ため池は、雨が少なく大きな河川から離れた地域等で、農業用水を確保するために水を貯めておく人工的な池のことです。



●水辺空間の形成

都市化の進行や開発によって緑や水辺空間が減少する中、水に親しむことのできる場所を提供しています。

●農業用水としての役割

雨が少ない地域では、古くから農業用水をため池に貯め、利用しています。

●防災としての役割

適切に管理することにより、大雨時の洪水調節や、火災時の防火用水としての役割があります。

〈令和5年度〉